

住んでいること自体がブランド化する 発信力のある砺波市に

農・商・工バランスの 取れた「田園都市」

砺波市は、富山県西部に位置する人口5万人規模の市であり、先人のためまぬ努力により、農・商・工のバランスの取れた「田園都市」として着実な発展を遂げてまいりました。住環境をはじめ医療や子育て環境、高齢者福祉の充実した住みよい都市として、東洋経済新報社の「全都市住みよさランキング」でも常に全国上位(平成24年度は6位、平成25年度は9位)にランク付けされるなど、その豊かさ暮らしやすさは国内トップクラスであると自負しております。

市域を縦貫する一級河川「庄川」によって形成された砺波平野は、屋敷林に囲まれた家々が点在する「散居村」で全国に知られており、

景観保全と空き家対策

砺波平野の散居景観は、世界に誇り得る日本の農村の原風景ともいわれていますが、農業形態や生活様式の変化、経済活動の進展などによって、屋敷林の伐採や農地の宅地化が進み、貴重な散居景観が失われつつあります。そこで、開発事業とのバランスを取りながら、この魅力ある景観を守り、育て、次世代に引き継ぐため、市民、事業者、行政が役割を分担し、協働する「砺波市景観まちづくり計画」の策定に取り組んでいます。

また、散居景観を形成する伝統家屋に空き家が目立ち始めており、景観や生活環境などを阻害する要因となっていることから、本年3月、



世界に誇る「散居景観」

「砺波市空き家等の適正管理と有効活用に関する条例」を制定しました。この条例は、適正管理と有効活用を2本の柱に、所有者・地域・行政の責務を明確にするとともに、三者が連携・協力して空き家対策に取り組むことを基本としており、地

おいしい砺波米をはじめ、日本有数のチューリップ球根や全国一の種もみの生産地として、力強い農業を展開しています。

また、大手飲料水製造業や半導体製造業などの最新鋭工場に加え、豊かな技術力を持つ中小企業や木工業などの伝統産業も立地しています。さらに、北陸自動車道や東海北陸自動車道および能越自動車道の結節点となっていることや都市計画事業の進捗により、近年は、大規模商業施設の立地や住宅地の拡大が進んでいます。

加えて、県定公園の「庄川峡」や「庄川温泉郷」は、県内有数の観光スポットとして、滞在型の観光客をはじめビジネス客などにとって魅力ある地域資源となっています。

域のつながりを重視した砺波らしい特徴的な条例となりました。

活力がつながるまちづくり

本市では、「活力がつながるまちづくり」を施策の指針の一つとして、地域で活動する人と人、組織と組織のネットワークが機能的に連携し、それぞれが高め合い、新たな視点、発想や実行力を生み出すよう努めています。

例えば、農業者と商工業関係者などによる「農商工連携会議」を通じての、地域資源を生かした新事業の創出や「砺波市医療連携協議会」を設置し、砺波地域の中核病院である市立砺波総合病院と民間医療機関の連携によってスムーズな医療連携によるシームレス医療の確保を目指すことなどが挙げられます。加えて、「砺波市自治振興会連携推進員制度(通称「地域アンテナ隊」)を設置し、各地区自治振興会の会議などへ職員を派遣し、市民と行政との情報共有による協働のまちづくりの推進など、さまざまな連携のもとで、それぞれの人や組織の主体性や自主性を尊重しながら課題の解決や施策の成果が、より向上することを目指しています。

600品種、250万本の チューリップ

大正7年に始まったチューリップ球根栽培は、砂質土壌や冬の積雪など自然条件が適していることや栽培農家の熱心な取り組みによって、今や日本一の出荷量を誇っています。

ゴールデンウィークに砺波チューリップ公園を中心に開催する「となみチューリップフェア」には、毎年、全国から約30万人の観光客にお越しいただいており、日本経済新聞で、「大型連休に行きたい花の名所で西日本」として紹介されました。

合併10周年事業となる次年度は、「未来へのしあわせ運ぶ 愛の花」をテーマに、全国に発



600品種250万本が咲き誇る「チューリップフェア」

もうひとつ上の「となみ」

今後、北陸新幹線の開業や北陸自動車道スマートインターチェンジの開設など交通環境が大きく変化し、都市間競争も激化していくことが予想されます。今日までの発展を維持し、引き続き地域で重きを成していくためには、施策の有機的な連携により効率的な市政

を展開していくことが一層重要になってまいります。

砺波市の豊かさ暮らしやすさに磨きを掛けて、地方都市の発展モデルとなるような、さらに豊かで住みよい、名実ともに人口5万人の活力ある田園都市「もうひとつ上のとなみ」の実現を目指し、市民の皆さんとともに力強く挑戦してまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 126.96km²
- ◆ 人口 4万9759人
- ◆ 世帯数 1万6062世帯

〔将来都市像〕庄川と散居に広がる健康フラワー都市

〔まちの特徴〕一級河川の庄川が育む肥沃な平野に、四季折々の花々と美しい散居景観が広がる、日本有数の住みよさを誇るまち

〔市町村合併〕平成16年11月1日、旧砺波市と旧庄川町が合併

〔特産品〕チューリップ球根、庄川挽



砺波市長 夏野 修



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

優れた地域特性を生かし 将来の発展を見据えたまちづくり

羽田空港まで22分！ 便利で住みやすい立地性

袖ヶ浦市は、東京湾アクアラインの千葉側着岸地の北側に位置しています。東京湾に面する臨海部は、京葉工業地帯の一角を占め、日本一の液化天然ガス貯蔵量を誇っています。土地区画整理事業などで形成された住宅地を挟み内陸部には、豊かな緑と整備が行き届いた農地が広がっています。

本市の立地性の一番の特徴は、交通利便性の良さです。袖ヶ浦バスターミナルの高速バス利用により、羽田空港へ最短22分で到着します。このほかにも川崎・横浜・品川・新宿の各駅へ高速バスが運行し、年間の乗降客は約120万人を数えています。

高速道路は、東関東自動車道館

山線と東京湾アクアライン連絡道(圏央道)が東西南北に伸び、各路線のインターチェンジを利用することが出来ます。

鉄道では、JR内房線長浦駅から東京駅まで、京葉線經由で最短1時間ほどで到着し、首都圏への通勤圏となる駅周辺の優良な住宅地は、便利で住みやすいという評価で人口も増え続けています。

豊かな自然環境、豊富な農畜産物、人気の観光スポット

本市の内陸部は、盛んな農業、豊かな自然、そして魅力的な観光資源を有しています。JAのブランド米「たちばなひめ」をはじめ、落花生、大根、レタス、自然薯などが栽培され、さやいんげんでは全国でも有数の産地となっています。シクラメンやパンジーなどの

花き栽培も、出荷量が全国で上位にランクされ、畜産では、乳用牛の販売農家数が千葉県内第3位となっています。このほかイチゴ、イチジク、ぶどうなどの味覚狩りやさつまいも、落花生などの収穫を楽しむ体験農園も人気があります。

観光では、イルミネーションで有名な東京ドイツ村が人気スポットになっており、その周辺には、本格的なレースコースの袖ヶ浦フォレスト・レースウェイなどのレジャー施設が集まり、年間を通してにぎわいを見せています。

また、花菖蒲など、四季折々の花と水と緑が楽しめる市営の袖ヶ浦公園は、県内外から観光バスが押し寄せてきます。隣接する農畜産物直売所「ゆりの里」では、新鮮な野菜や特産品が人気で、市内外の皆さまにご利用いただいています。



袖ヶ浦公園の花菖蒲と花摘み娘

また、平成24年から市内ゴルフ場での女子プロゴルフツアーや、ロックバンド気志團主催による袖ヶ浦海浜公園での音楽フェスティバルといった、9000人から4万5000人を集客する大きなイベントも開催され、全国から訪れた観客の熱気で大いに盛り上がり、地域の活性化に一役買っています。

また、平成24年から市内ゴルフ場での女子プロゴルフツアーや、ロックバンド気志團主催による袖ヶ浦海浜公園での音楽フェスティバルといった、9000人から4万5000人を集客する大きなイベントも開催され、全国から訪れた観客の熱気で大いに盛り上がり、地域の活性化に一役買っています。

未来をひらくビッグプロジェクトが進行中！

本市に隣接するアクアライン着岸地にアウトレットパークが開業した教育環境と、交流・定住人口の増加に向け、好条件を備えるに至っております。こうした地域特性の「袖ヶ浦らしさ」に、さらに磨きを掛けるため、私が直接市民の皆さまに市勢の現状や課題、その取り組みを説明し、協働のまちづくりのための情報の共有を図る「わがまちのようすがわかる予算説明会」を始めて2年目となりました。

また、市税収入の大幅な減少や扶助費の増加などにより市財政は

して大盛況ですが、車で5分ほど走ると本市のJR袖ヶ浦駅があり、今、大正時代の駅舎を斬新なデザインで全面改修を進めているところです。その駅北側では、現在、49・8haの土地区画整理事業が進行中で、広大な商業地と優良な住宅地として生まれ変わりつつあります。

また、隣接するJR長浦駅も全面改修によるバリアフリー化を進めています。その内陸側には、千葉県が整備した「椎の森工業団地」があり、今後は県と市で第2・3期工事を実施するなど、将来の発展を見据えたまちづくりを推進しているところです。

充実した教育環境

本市の図書館は市内に3館あり、図書館のホームページで蔵書の検索や予約を行うことができます。また、すべての学校図書室とも連携して図書資料を提供するなど、読書教育の充実は、「図書館を使った調べる学習コンクール」で優秀賞以上の入賞数では、3年連続日本一といえる成果に結び付いています。運動面では、児童・生徒の体力づくりにも意欲的に取り組み、



ちばアクアラインマラソンの沿道応援

優れた地域性に磨きを掛ける 市政経営の改革を推進

本市は交通結節点に位置する立地性や豊かな自然、着実な社会資本整備や産業基盤、さらには優れた

プロフィール

- ◆ 面積 94・92km²
- ◆ 人口 6万1812人
- ◆ 世帯数 2万4891世帯

〔将来都市像〕「自立と協働のまち」人いきいき、緑さわやか、活力あふれる袖ヶ浦

〔まちの特徴〕臨海部に工業地帯を有し、緑豊かな内陸部では、農業や観光が盛んな調和とにぎわいのあるまち



袖ヶ浦市長
出口 清



〔特産品〕から付ピーナッツ、お茶、ジャム・蜂蜜、太巻き寿司、ホイイトガウラーメン(ご当地グルメ)

〔観光〕袖ヶ浦・百目木・袖ヶ浦海浜公園、東京ドイツ村、ダチヨウ王国、袖ヶ浦フォレスト・レースウェイ

〔イベント〕袖ヶ浦市民ふれあい夏まつり、袖ヶ浦・百目木公園まつり、公民館まつり、ちばアクアラインマラソン

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

地域資源を生かした煌のまち

きらめき

はじめに

富田林市は大阪府の東南部に位置し、雄大な金剛・葛城連峰を背景に広がる緑豊かな丘陵や美しい田園風景などの自然、飛鳥時代の古代寺院跡から近世の富田林寺内町まで悠久の歴史を刻む歴史文化財、そして近代的な都市環境が共存しています。

駅前等のにぎわい再生

石畳と旧家の白壁が連なる歴史的町並み「富田林寺内町」の創建は永禄年間(16世紀中ごろ)にさかのぼり、京都興正寺証秀上人が荒地「富田の芝」を買い受け、寺と町衆の協力によって寺内町は造営されました。江戸時代には周辺地域の流通拠点、商業の町として大いに栄え、明治以降も行政、商業の南

河内地域の中心地として発展しました。約450年の時を経て、今なお残る町並みの美しさは、往時の面影を伝えており、大阪府内で唯一、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

本市は、そんな貴重な歴史資産である富田林寺内町を核として富田林南地区の活性化を図るため、平成17年に都市再整備計画を策定し、地区整備と町の活性化事業を精力的に進めてまいりました。

特に、地区への入り口となる富田林駅南広場の整備は長年の課題で、南河内地域の生活・交通の拠点として重要な役割を担ってきたにもかかわらず、歩道整備すらなされず危険な状態でした。そして本年、来訪者の利便性と安全な歩行空間を確保した、待望の玄関口がようやく完成したところです。

おります。

今後もし引き続き、子どもを産み育てる家庭を地域全体で支援しながら、子どもが心身共に健やかに育つための環境整備を推進してまいります。

シティセールスの推進

本市では充実した子育て支援施策、自然豊かな住環境、歴史文化などの市の強みを魅力として発信する、シティセールスに取り組んでいます。

少子高齢化の進展とともに、本市の人口は平成15年をピークに減少に転じ、特に20代から30代の子育て世代の減少が目立ちます。

そのため本市では、特に子育て世代の転入促進を図るため、シティセールスリーフレットの作成やポスターの掲示など市内外へ向けて広く情報発信し、市の知名度と子育てしやすい市のイメージアップを図ってまいりました。さらに、本年からは市内のシティセールス関連事業を統括、調整するため、新たにシティセールス係を設置しました。

新たな取り組みとして、本市とオリックス野球クラブは、市立総

加えて、地区の活性化を目指し、地元住民を主体に取り組んできた、四季折々の風情を織り込んだイベント「寺内町四季物語」は富田林の季節の風物詩といわれるほど好評を博し、毎回多くの来場者でにぎわっております。今後もリニューアルしたばかりの富田林駅南広場を新しい市の玄関口として、周辺地域を含めたさらなるにぎわいと活気に満ちたまちづくりを進めていきたいと考えております。

他方、市の西部に位置する金剛地区は、旧日本住宅公団(現UR都市機構)が高度経済成長期に丘陵地を開発したニュータウンで、充実した都市基盤、良好な住環境を備えたベッドタウンとして成長しました。開発から約40年が経過する中、社会情勢の変化に伴い、少子高齢化や人口減少、住宅施設の老

合スポーツ公園野球場でプロ野球ウエスタン・リーグ公式戦が開催されたことをきっかけに、同野球場の愛称を「富田林パファローズスタジアム」と定めるスタジアムニックネーム協定を締結しました。

これまでは、主に少年野球や大学などの硬式野球の練習場や試合会場として使用されてきましたが、プロ野球の公式戦を開催できる野球場としてプロから認められたことで、利用者の満足度が高まり、野球場の稼働率の向上と市のス

ポーツ振興に貢献できると期待を寄せるとともに、プロ野球チームの名称を活用することで、市の知名度アップにつなげていきたいと考えております。

プロフィール

- ◆ 面積 39・66km
- ◆ 人口 11万7191人
- ◆ 世帯数 4万9909世帯

〔将来都市像〕 みんなでつくる、育もう、魅力あるまち 富田林

〔まちの特徴〕 豊かな自然と歴史に恵まれたまち

〔特産品〕 大阪金剛簾、ナス、キュウ



富田林市長 多田利喜



リ、ハクサイ

〔観光〕 農業公園サバーファーム、富田林寺内町、新堂庵寺跡・オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳、滝谷不動明王寺、龍泉寺、

〔イベント〕 寺内町四季物語、PL 教祖祭花火芸術、秋祭り

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



寺内町燈路(寺内町四季物語・夏)



子育て支援(保育士による家庭訪問)

わが

南海トラフ地震に備えた 災害に強いまちづくり

はじめに

わが南国市は、南北に長く、北は四国山地、南は太平洋に面しており、海岸線は約8kmとなってい



「命山」という言葉が刻まれた開拓記念碑

ます。この海岸線から北へ県下で最も広い優良農地である高知平野が広がっており、土佐の稲作の発祥の地として、温暖多雨の気候を利用して米の二期作が行われていました。

また、律令時代には国府が置かれ、土佐の政治経済の中心地として栄えました。国司として赴任した紀貫之が、帰京する際に記したのが有名な「土佐日記」です。戦国時代には、長宗我部元親が岡豊城を本拠地として土佐を平定するなど、本市は豊かな自然とともに歴史あふれる「土佐のまほろば」です。さらに、高知自動車道南国ICや高知龍馬空港を有し、高知の玄関都市として発展してきました。

空港建設で消失した「命山」

しかしながら、この空港建設に

は、周辺住民が大きな犠牲を払ってできあがったという背景があります。

歴史をひもとくと、100年から200年の間隔で南海大地震が発生しており、そのたびに津波による大きな被害を被っています。

高知平野での農業を中心に栄えてきたこの地ですが、平野が広がっていることが地震の際にはかえって災いしてきました。

海岸沿いには丘陵地がなく、住民が避難する場所がないのです。沿岸西部には高台もありますが、沿岸東部は海岸からおよそ200〜300m内陸に海拔10m前後の丘があるだけで、あとは田園が広がっており高台がありません。特に、東端に位置する久枝地区には、その丘すらありません。

ところで、過去の地震の記録を

避難するための外付け階段などの整備にも同時に取り組んでいます。

おわりに

南海トラフ地震が発生しても「二人の犠牲者も出さない」。このことは行政として重大な決意を持って臨む必要がありますが、行政だけではなく、市民の皆さんも

本気になって一緒に考えていただいています。今後は、地域における自助・共助の在り方、避難路の確認や、災害時における要援護者の把握と援助の仕方についての検討など、ソフト、ハード両面において市民とともに防災対策に取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

プロフィール

- ◆ 面積 125.35km²
- ◆ 人口 4万8704人
- ◆ 世帯数 2万1736世帯

〔将来都市像〕みんなで築く健康で安心な いきいき文化交流・産業拠点のまち

〔まちの特徴〕高知龍馬空港を有する高知の玄関、海・山・川の自然に恵まれ歴史資源の豊かな田園都市

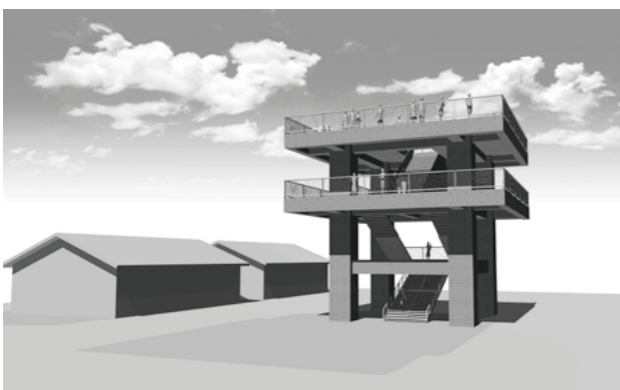
〔特産品〕四方竹、ヤマモモ、シシトウ、シヨウガ、ピーマン、オクラ、小ナス

〔観光〕西島園芸団地、レジャーランド巨峰園、やなせたかしロード、長

尾鷲センター、ながおか温泉、時計博物館、国分寺、禪師峰寺、紀貫之邸跡、古今集の庭、前浜掩体群、高知県立歴史民俗資料館、鳥居杉、毘沙門の滝

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

この「命山構想」は、「命山」の復元ではなく、すべての住民が歩いておむね5分程度で避難することができるよう半径300mの間隔で14基の津波避難タワーを整備するという計画です。構想策定直



津波避難タワー完成予想図



南国市長 橋詰壽人

